

設 立 趣 旨 書

1 趣 旨

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災で宮城県は甚大な被害を受け、文化や歴史、暮らしや財産、そして人々の命まで奪われてしまいました。

被災地に住む人々の生活は一変し、大きな悲しみや痛みを抱えましたが、この災害に屈することなく復興への努力を続けております。

しかし、発災から 1 年半以上経ちますが、いまだ被災者自身が復興を実感できず、先が見えない絶望感や閉塞感が、復興への足取りを鈍くさせています。

その原因は、

- ・風化が進むにつれて物資的・経済的な支援が滞りがちになり、自立に対するモチベーションを維持できないこと。
- ・被災地の復興に対する様々な想いから、地域の課題がより複雑化していること。
- ・それらに対するきめ細かな支援が行き届いていないこと。

にあると考えます。

これを打破するには、問題の当事者である被災者自身が立ち上がり、地域に根付いた「被災者自身による復興」を行うことが不可欠で、そのための細やかなサポートをしていくことが必要と考えます。

そこで当団体は、被災者を受け手側から創造する側へと変えていくために、自立的な復興に向けた支援を行います。具体的には、

- (1) 自立に必要な物資の集積・管理・配布
- (2) 地域の特性を活かした産業創出の機会づくり
- (3) 外部支援団体のコーディネート
- (4) 全国各地で開催されるイベント等における復興状況の情報発信と物品販売
- (5) その他、高齢者等の見守り、地域課題解決へ向けた活動

を積極的に実施してまいります。

これらの活動は、「人と人・人と地域・人と社会」の繋がりを創造していくと共に、自立、生活再建に対するモチベーション維持や、地域課題の克服、それらを支える細やかな支援の体制作りに寄与するものであります。

記憶が薄れがちになってきたと感じる今日、あの日・あの時、誰もが感じた想いを持ち続けてもらうよう、また、本当の意味での「被災者自身による復興」が成し遂げられるよう、支援活動を続けていきます。

最後に、当団体の名称としたガーネットに込めた想いを記します。

ガーネットは天然石のひとつです。その石言葉の意味が「実りの象徴」と言われ、目標に向かいコツコツと努力し成果を実らせて、成功へと導いてくれるといわれています。大きな困難を前にしても、忍耐力を与えて前向きに乗り越えるようサポートしてくれる天然石でもあります。この意味と私達の復興活動への想いが重なります。

2 設立に至るまでの経過

当団体は平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災をきっかけに発足しました。昨年 4 月 1 日の活動開始から現在に至るまで以下の活動を実施しております。

- ・ 自立支援・地域の雇用の機会づくりの一環として内職業の企画・運営及び手仕事事業へ物資、販路開拓、販売支援
- ・ 亘理町/山元町へ物資の配布会・人的支援
- ・ カラオケ大会(山元町仮設住宅地集会所)
- ・ 山元町災害FMラジオ「りんごラジオ」への人材、物資支援
- ・ 他ボランティア団体の現地コーディネート、ボランティア派遣及びチャリティイベント等への出展、出演
- ・ 山元町ホッキ発起プロジェクト（手仕事における生活再建・雇用支援事業）
- ・ 尾ノ崎（石巻市）意外や“イガイ”プロジェクト（産業復興支援事業）

上記活動を通じて、当事者である被災者自身が立ち上がるためには、より組織的、継続的な活動にしていく必要性を感じてきました。そこで、これまでご協力いただいた方々に呼びかけ、特定非営利活動法人を設立するに至りました。

平成 25 年 1 月 13 日

特定非営利活動法人 ガーネットみやぎ

設立代表者

住所又は居所

宮城県柴田郡村田町大字村田字針生前 19

氏 名 澁谷直美